

大型コンクリート製品

記事提供：(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会

令和4年 7～9月期の大型コンクリート製品の出荷状況は、前年同月比でマイナス57%となっている。出荷の内訳は、ダム監査廊が48%で、内ヶ谷ダム(岐阜県)・成瀬ダム(東北地整)・立野ダム(九州地整)に出荷された。次いでスノーシールド、スノーシェルター類が42%で、新潟県内と青森県内に出荷された。他、大型BOXカルバートが10%で、新潟国道管内の紫竹山改良工事に出荷された。長尺側溝類、コンクリート舗装版の出荷は無い。

また、大型製品の対象とはならないが、河川護岸の整備・強化等への出荷はある。

大型コンクリート製品出荷量の推移

(単位：%、千t)

県名	令和3	令和4年度				備考	
	年度計	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		累計
新潟県	+69	+∞	▲71			▲46	
	5.30	0.59	0.66			1.25	
富山県	▲30	+∞	+107			+331	
	0.62	0.65	0.60			1.25	
石川県	+∞	▲∞	▲∞			▲∞	
	0.66	0.00	0.00			0.00	
3県計	+63	+∞	▲57			▲14	
	6.58	1.24	1.26			2.50	

(注) 大型コンクリート製品とは、大型ボックスカルバート(幅4m高3m以上で分割製作されたもの)、長さ5m以上の長尺側溝類、監査廊、コンクリート舗装版(融雪舗装版を含む)、スノーシールド、スノーシェルターをいう。

『一般社団法人 北陸土木コンクリート製品技術協会』 <http://www.hokudocon.jp>